

Seventeen



撮影者 沢井 寛 (小松島町)



クイズ

平成 29 年 4 月から 10 月末までに小松島市に寄港した豪華客船は何隻でしょう。下の 3 つの中からお選び下さい。(同船が 2 回寄港の場合、2 隻とする)



(写真はダイヤモンドプリンセス)

- ① 2 隻 ② 6 隻 ③ 9 隻

応募資格

小松島市民の方、年齢制限はありません。

※はがきに答え・住所・氏名・年齢・性別を記入。
抽選で 5 名様に図書カード 1000 円分プレゼント!

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。)

あて先

〒773-8501

小松島市横須町 1 番 1 号 小松島市議会事務局 宛

(締切日 11 月 30 日消印有効)

前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。

前回の答えは 13 ページ (下段) に記載しています

「沖へ行っきよる」

チリメンジャコ漁獲船

目次 (9 月定例会議)

| | |
|-------------------|------|
| 常任委員会報告 | 2~3 |
| 予算決算常任委員会(事務事業評価) | 4~5 |
| 一般質問 | 6~13 |
| 議会広報の研修 | 13 |
| 賛否表・議員報酬等特例条例制定 | 14 |
| タウンミーティング開催 | 15 |
| 12月定例会議日程・他 | 16 |
| 編集後記 | 16 |

常任委員会報告

総務常任委員会

安平 剛之委員長

報告3件を受諾

本委員会では3件の報告事項に対する詳細な説明を受けた。また、所管事項について、委員と理事者側との活発な質疑応答が行われ、各事項について調査検討の上、積極的な対応を求めた。

◎報告第16号

専決処分報告について
(損害賠償額の決定)

◎報告第17号

専決処分の報告について
(損害賠償額の決定)

報告第16号及び第17号については、公用車運転中に発生した事故について、その損害賠償の額を専決処分により決定したことを議会に報告するもの。

◇報告に対する質問◇

小松島市土地開発公社の平成28年度決算について、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、議会に報告するもの。

米崎 公用車運転中による事故では相手方の高校生が、鎖骨を骨折されたということだが、学業面での支障はなかったのか。

文教厚生常任委員会

宮崎 欽司委員長

訴えの提起についてを可決

本委員会では議案1件が付託された。議案第82号については採決の結果、原案のとおり可決となった。なお、審査内容等については後述のとおりである。

本委員会では議案1件が付託された。議案第82号については採決の結果、原案のとおり可決したが、今回は全額を請求するという点か。

◎議案第82号 訴えの提起について

本市が貸し付けた住宅新築資金等貸付金に関して、徳島地方裁判所に連帯保証人を被告として保証債務の履行を求める訴えを提起するもの。

◇議案に対する質疑◇

廣田 以前、同様の案件では時効の援用、いわゆる

時効消滅が発生しているが、今回は全額を請求するという点か。

答 今回は連帯保証人が保証債務を認めていない状態での訴えであり、保証債務を認めていないため、時効による消滅が成立していないことから、全額を請求するものである。

廣田 連帯保証人が保証債務の時効の援用を申し出たら金額は変わるのか。

答 保証債務を認め、その時点で時効の援用を申し出た場合は判決により請求金額の一部が認められないということになる。

産業建設常任委員会

武田 清委員長

調停案の受諾を可決

本委員会では議案1件及び陳情1件が付託された。議案第83号については採決の結果、原案のとおり可決、陳情第2号については不採択となった。なお、審査内容等については後述のとおりである。また、所管する課より市の事業等の現状報告を受けた。

調停案の提示があったため、受諾することについて、議会の議決を求めたもの。

◇議案に対する質疑◇

出 ほとんどの損害賠償請求額は。

答 3223万円である。

◎議案第83号 調停案の受諾について

平成18年度に発覚した競輪局での横領事件に係る損害賠償に関し、訴えの提起を行っていた損害賠償請求事件について、

今般、徳島地方裁判所よ

出 相手方が現在59歳であり、社会通念上65歳まで就労可能であろうということから、平成29年10月からの6年間、毎月4万円、総額288万円の返済となっている。

答 通学等に関してはタクシーを利用することで補償した。

◇所管事項での質問◇

吉見 正面玄関には駐車禁止と表示されているが、ロータリーには駐車禁止の表示がないため、多くの車が駐車している。これでよいのか。

答 現状の認識はしている。今後、駐車禁止の周知を行っていきたい。



市役所正面玄関

安平 避難困難地域解消を目的として、昨年の7月に「命山」が和田島町に完成したが、次の実施計画は。



津波一時避難施設 希望の丘「命山」

答 現在、次の計画はできていない。

安平 当初の基本計画の中に3カ所つくるとうたわれている。早く庁内で協議を行うべきでは。
答 庁内等で協議を進めていく。

廣田 9月末現在で事業全体ではいくらの金額が時効になっているのか。

答 時効の援用がされた場合、約7477万円になる。

廣田 長期にわたって督促状を出していないのか。今後はどうするのか。

答 平成28年度に小松島市債権管理マニュアルを策定しており、今後は法的措置を視野に入れた適正な償還事務を行う。

廣田 平成33年で事業は完了の形になるが、債権の回収には担当課を含め、市の努力をお願いする。

◇所管事項での質問◇

安平 北小松島公民館の改築について、当初の予定より遅れている。いつごろから工事に着手するのか。

池淵 公民館改修・改築
答 12月に補正予算を提出し、平成30年度早々に工事の完了を目指す。

の全体の基本計画策定に向けての進捗状況は。

答 公共施設等総合管理計画なども参考にしながら、順次進めているところであり、本年度内には方向性が示せるよう準備をしている。



公民館移転先となる旧北小松島幼稚園

武田 新居見遺跡の発掘調査も最終段階に入ってきている。市民に対しての現地説明会を計画できないか。

答 県の調査となることから、県と協議した上で検討する。

出口 調停案の金額があまりにも低いのでは。

答 相手方の資産、就労状況等、全て調査した上で支払可能であろうぎりぎりの額が示されている。

出口 調停案を不服とした場合の対応は。

答 裁判による判決となり、原告（小松島市）勝訴となれば、相手方へ支払を求め、支払がない場合は財産の差し押さえ等の手続きを踏むこととなる。ただし、相手方に資産等はなく、回収の見込みが立たないことから、今回の調停案を受諾し、少しでも本人に負担を求めるといって考え、議会の議決を求めることとなった。

◎陳情第2号

全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情について

森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」早期導入を求める意見書の政府・国会等への提出を

求めるもの。

◇陳情に対する意見◇

・森林環境保全は国が真剣に取り組むべきである。

・個人住民税均等割の枠組みでの活用となると、増税になる。

◇所管事項での質問◇

佐野 外灯、防犯灯は市と地域が管理しているものがある。通学路などで、民家がなく電気を支払う組織がない場合、防犯灯が設置できない。改善して欲しい。

答 市民生活全体で考え、財政負担等を考慮して検討する。



予算決算常任委員会

委員長 井村 保裕

事務事業評価を策定 委員会提出議案として上程

本委員会は、議案第71号から議案第79号までの決算認定と議案第80号、議案第81号の補正予算の計11件の議案が付託され、9月15日、19日、20日、21日、26日、27日の計6日間慎重審査を行った。

議案審査では、部局別の担当課ごとに説明を受け、質疑を行い、最終日には自由討議・討論・採決を行った。採決の結果、いずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決した。



井村委員長(右)から北野議長(左)へ評価報告書を提出

また、平成28年度事務事業のうち、議会が重要と判断した18事業についての事務事業評価を行い、議会事務事業評価報告書を委員長から議長に提出するとともに、散会日において委員会提出議案として議会評価意見書を上程した。

議会が評価した主な事業をピックアップ

議会評価 拡 充

H28 年度決算額
1 億 9,183 万円

教育・保育へのニーズも多様化しており、保育所・幼稚園を統合する認定こども園の設置は急務である。

認定こども園運営事業



日峯大神子広域公園(脇谷地区) 整備事業



完成イメージ図

議会評価 現状のまま継続

H28 年度決算額
2,575 万円

市民の健康増進や防災機能を兼ね備えた都市公園として平成34年度の完成を目指して進めていかなければならない。



議会評価
改善・効率化し継続

H28 年度決算額
1,318 万円

オリジナリティーあふれる魅力発信に努め、大型客船の寄港や高速道路開通にあわせた観光振興に取り組むべきである。

議会評価
拡充

H28 年度決算額
895 万円

防災訓練・防災講座等を定期的に行い、また、防災倉庫を増設すべきである。



災害対策事業

その他の事務事業評価は、下記のとおり

| 事業名 | 28 年度決算額 | 議会評価 |
|-----------------------|--------------|-----------|
| 電算システム管理運営事業 | 1 億 8694 万円 | 現状のまま継続 |
| 中心市街地にぎわい創出事業 | 542 万円 | 改善・効率化し継続 |
| 地域おこし協力隊事業 | 1209 万円 | 改善・効率化し継続 |
| 側溝整備事業 | 1840 万円 | 現状のまま継続 |
| 空き家等対策事業 | 625 万円 | 現状のまま継続 |
| 乗合バス協定路線運行事業 | 5580 万円 | 改善・効率化し継続 |
| ごみ袋販売事業 | 4622 万円 | 改善・効率化し継続 |
| 葬斎場建設事業 | 4 億 2091 万円 | 終期設定し終了 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 1689 万円 | 改善・効率化し継続 |
| ごみ焼却施設運営事業（ごみ収集等含む） | 2 億 2475 万円 | 現状のまま継続 |
| ごみ焼却施設整備事業 | 1 億 8555 万円 | 現状のまま継続 |
| 健康診査等助成事業（人間ドック・脳ドック） | 673 万円 | 現状のまま継続 |
| 生活保護事業 | 12 億 2420 万円 | 現状のまま継続 |
| スクールバス運行委託料 | 741 万円 | 改善・効率化し継続 |

なお、詳しくは小松島市議会ホームページをご覧ください。

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

| 質問者名 | 件名 | |
|-------|-------------------------|-----|
| 四宮 祐司 | ごみ処理施設の広域整備について | P6 |
| | ハード・ソフト面からの「災害意識社会」について | |
| | 市の教育問題について | P6 |
| 松下 大生 | 道路整備について | P6 |
| | 中小企業振興条例について | |
| | 小松島活性化について | P7 |
| | 市民の健康増進について | |
| 池淵 彰 | 都市計画マスタープランについて | P8 |
| | 農業振興施策について | P8 |
| | 職員の適正管理と臨時職員のあり方について | |
| 井村 保裕 | 防災・減災対策の推進について | P8 |
| | 交通安全対策の推進について | P8 |
| | スポーツ・芸術・文化活動の充実について | P8 |
| | 広域ゴミ処理施設について | P9 |
| 武田 清 | 県道小松島・佐那河内線の歩道整備について | P9 |
| | 道路の通行制限について | |
| | 鳥獣被害対策について | P9 |
| | 小松島ステーションパークのSL機関車について | P9 |
| 杉本 勝 | 市営グラウンドについて | P10 |
| | 広域ごみ処理施設について | P11 |
| 高木 幸次 | 広域ごみ施設建設問題について | P10 |
| 片田 真弓 | 「防災無線」の検証について | P11 |
| | 小中学校の環境整備促進及び入学準備金について | P11 |
| | 広域ごみ処理建設について | P11 |
| 出口憲二郎 | 小松島南部の地域振興に向けた取り組みについて | P12 |
| | 小松島市立図書館について | P12 |
| | 広域ゴミ処理施設について | P12 |
| | 住宅新築資金等貸付事業について | P13 |
| 吉見 勝之 | 小学校について | P12 |
| | 図書館の新駐車場について | P12 |
| | 震災時の水の確保について | |
| | 選挙の投票について | P12 |
| | 市民への広報手段について | |
| | 市税等の差し押さえについて | P13 |

ごみ処理施設の 広域整備の協議は

公明党 四宮 祐司 議員

答

安全・安心な施設となるよう進めていく



私道を市へ移管できるように 基準の緩和を

創生クラブ 松下 大生 議員

答

編入基準のうち、損傷度合いについて緩和の検討をする



四宮 施設整備基本計画の策定など、ごみ処理施設の広域整備の協議について市長はどのように判断されるのか。

市長 大気、水質等の環境面などへの対応には十分配慮する中で、安全・安心な施設として建設されるものと認識をしているが、首長間の協議の場において、改めて要請していく。

防災行動計画について

四宮 防災行動計画タイムラインは、都道府県管理の中小の河川でも既に導入されているが本市の現状は。

危機管理課長 タイムラインとは発災時に、いつ、誰が、何をするかに注目して防災行動とその実施主体を時系列で整備した計画である。国管理的那賀川については、本年3月に計画が公表された。県管理の勝浦川につ

いては、県がタイムラインを検討中である。

四宮 今後のインフラ整備など、ハード面からの災害対策に対する市長の考えは。

市長 災害時の緊急輸送路、緊急避難場所となる四国横断自動車道の阿南徳島東間の早期完成をはじめ、避難路となる道路整備や防災機能を付した都市公園整備を計画的かつ着実に実行していく。

不登校の現状は

四宮 本市の小・中学生の不登校の現状は。

学校課長 平成28年度、病気や経済的理由による欠席を除いた30日以上の欠席児童・生徒は小学校で5名、中学校で20名である。

四宮 不登校児童・生徒、保護者に対する対応は。

学校課長 全教職員が不登校児童・生徒に対して家庭との連絡、家庭訪問等、全校体制で取り組

んでいる。またスクールソーシャルワーカーを活用し、医療機関、児童相談所、福祉事務所等と連携して支援していく。

教育長 教職員は保護者及び児童・生徒との信頼関係を確立すること、さらには児童や生徒の変化や成長を決して見逃さないこと、また生徒の指導上で問題が生じた場合、児童・生徒としっかり向き合い、寄り添い、支え導くことが最も大切であると考えている。



秋雨の中、登校する小松島中学生

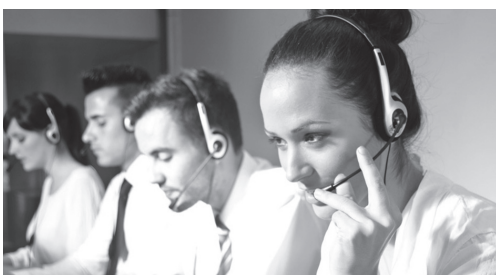
松下 過去に開発した民間所有の道路の移管は進んでいない。この状況が続けば、結局困るのは生活道路として利用している市民である。市道への移管に関しては、一定の基準は必要との認識はあるが、市へ移管できるよう基準を緩和しては。

都市整備課長 現在の基準は、平成19年に策定しており、開発協議において基準を満たした道路のみを市の管理道路として移管を行ってきた。基準を緩和すると平等性が担保できなくなるので、新規に開発する道路における基準の緩和については難しい。しかし、過去に造成した開発道路等の老朽化が進行することにより、市民生活への影響が懸念されることから、編入基準のうち、損傷度合いについては今後、緩和の検討をしていく。

小松島活性化に向けた施策を

松下 本市では、全国の他の自治体同様に企業誘致施策の効果が出ているとは感じられない。誘致活動を行っていく際に、明確にどのような業種や場所に誘致していくかの戦略や方針は。

産業振興課長 企業立地促進条例を改正し、対象となる事業所にコールセンターを新規に追加している。また、徳島県では、全国有数の補助メニューを設けており、本市は県庁所在地の隣接市



コールセンターイメージ図

としてのメリットを最大限活用し、本市への誘致ができるよう、誘致先の候補となり得る物件の提案も含めて、PRに努めたい。

松下 本市は県都である徳島市、工業が盛んな阿南市に挟まれている立地であり、高速道路開通予定で徳島市、阿南市への通勤に便利である。この地の利を生かしたベッドタウン化についても同時に推進すべきであると思いが、市長の考えは。

市長 本市の市街地では、医療、福祉施設、商業施設の住居等がまとまって形成しており、集約連携型、いわゆるコンパクトシティ及び災害に強い都市構造の構築を目指したまちづくりを進めていくことが必要だと考えている。宅地開発など土地利用の方針については、上位計画や関連計画に従って取り組んでいきたい。

農業振興地域整備計画書の 早期見直しを

みらいの会

池淵 彰 議員

答 早急に見直し作業にかかる



池淵 都市計画マスタープランの中で、今ある計画をさらに具現化していくために必要となる体制づくりは。

いは社会情勢の著しい変化がある。計画書を見直すべきだ。

産業振興課長 農業振興

地域の整備に関する法律第13条により、県の基本方針や農業振興地域の区域の変更、または経済事情の変動、その他情勢の推移により必要が生じたときには、計画を変更しなければならぬと

まちづくり推進課長 具現化については、個々の法令に基づき、地域の特性を生かした、よりよい地域づくりを適正に進める必要がある。9月に総合的な調査・審議を行う小松島市土地利用対策会議を設置し、要綱を制定した。

池淵 小松島市農業振興地域整備計画書の策定年度は昭和48年である。策定時から土地形成ある

なっている。計画の見直しには、まず、基礎調査を行



見直しがされていない本計画図

い、調査結果を踏まえて判断する。今後、優良な農地等の保全との調整を図りつつ、農業振興地域の整備に関する法律の手に沿って検討したい。

緊急時の情報伝達手段として Jアラートの整備体制は万全か

新風はなみずき 井村 保裕 議員

答 問題ない、今後も適切に伝達できるよう努める



井村 北朝鮮の弾道ミサイル発射等による脅威について、市の対応は。

危機管理課長 住民保護

を的確かつ迅速に実施するため、平成19年3月に小松島市国民保護計画を策定している。今後も総合的に推進していく。

井村 有事の際には、自分の身は自分で守ると言う事になり、的確な情報を周知することが大切である。Jアラートの整備体制は万全か。

危機管理課長 機器の点検等を目的とした訓練では問題なく放送された。今後も適切な運用体制に努める。



砂のなくなった今津坂野海岸

井村 和田島地区防災対策として今津坂野海岸の侵食対策について、人工的に海砂を入れるなど対策が急務ではないか。

都市整備課長 これまでの対策は一定の効果を出しているが、今後は養浜の必要性を検証する。

井村 なぜ必要と思われる箇所に外灯が設置できないのか。

危険場所への外灯設置を

井村 設置の要望書をまとめる際に、一部の住民の理解が得られないとか、農耕地周辺の地理的な条件により設置が出来ない場合がある。交通安全対策や防犯にも考慮し、設置していく。

体育施設の維持管理体制は

井村 あいさい緑地の芝生の管理が悪すぎる。樹木も大きくなり剪定が必

池淵 計画策定時から現在までの土地形成・社会情勢の変化は計画の見直し事由に該当しないのか。

産業建設部長 現在の社会情勢から計画の見直しが必要な時期が来ていると認識している。
池淵 まず調査し、見直し作業を行うという認識であるが、市の総合計画が最上位計画であって、その下に各所管課における計画というのが必ずある。都市計画マスタープランと同じくして農業マスタープランというものがあって、初めて土地利用が一体化していくとい

う考え方を私は持っている。早急に見直しを図るべきだ。

副市長 農業振興地域整備計画の策定は、昭和48年であり、情勢の変動は、あり過ぎるぐらいであったという認識で、早急に見直し作業にかかる。

モデル地域に設置した イノシシの侵入防護柵の効果は

新生クラブ 武田 清 議員

答
農作物の被害軽減に
効果があつた



武田 鳥獣による農作物への被害状況は。

産業振興課長 平成28年度は234万円。9割以上がイノシシによる被害である。

武田 イノシシの捕獲数は。

産業振興課長 今年度は

9月1日時点で51頭を捕獲しており、昨年度を上回る予想である。

武田 昨年、新居見地区をモデルとし、イノシシの侵入防止柵を設置したが、効果は。

産業振興課長 被害報告

はなく、センサーカメラを設置し、検証の結果、被害軽減の効果があつた。

武田 今後の設置予定

産業振興課長 田浦町の恩大栗地区と田野町の恩

要ではないか。また、市立体育館では利用者からの指摘を受け、大掃除したと聞く。体育施設の維持管理は適切か。

生涯学習課長 芝の管理については県と協議し、芝生の適正な管理、散水、施肥、養生機関の設置等実施する。清掃について

山寺地区を中心に導入する。

県道小松島・佐那河内線の歩道整備
について

武田 進捗状況と今後の予定は。

まちづくり推進課長 事業区間610メートルのうち、370メートルの暫定供用の開始。残り下王子神社東より児安小学校前の100メートルの区間については、バス停を含め10月頃から工事に着手する。

武田 歩道整備に伴うグラウンド整備においては、校内の安全対策を図ってはと提案してきた

は、利用者には不快な思いをさせないよう努める。

広域ごみ処理施設
建設について

井村 事業推進に当たり、市民の不安を解消するための啓発活動や事業への理解に向けた取り組みは。

が、どのような整備となるのか。

教育政策課長 児童の安全確保を念頭に、新たに整備される歩道から児童・生徒の通用口及び車両の侵入口を設ける。



車が出入りする児安小学校正門

武田 徳島市飯谷町に広域ごみ処理施設が建設となれば、小松島市の大

市民生活課長 事業主体である徳島市が、大気や排水、場内での排水処理等の概要については、安心・安全な施設とする方針を示している。今後、市議会での事業進捗の経過説明や市広報やホームページ等、広報媒体を活用し、周知していく。

半のごみ収集車が、この県道を通行することになり、大変危険である。この計画を見越して次期事業計画を進めるべきでは。

まちづくり推進課長 次期事業計画については、事業主体である県に要望する。

SL機関車の長期
保存への対策は

武田 屋根がなく、炎天下での日差しや風雨にさらされては、美しい状態での保存が難しい。対策は。

都市整備課長 塗装や修繕して長期保存に努める。

日峯大神子広域公園整備事業の進捗状況は

新生クラブ 杉本 勝 議員

答 用地確保を最優先に取り組む

杉本 広域公園整備に向けた事業の現在の進捗状況は。

まちづくり推進課長 用地確保を最優先課題として、これまでに用地補償に係る諸手続きを終え、関係権利者との協議、交渉を重ね、年内の契約を

目的に鋭意取り組んでいる。施設整備計画にあたっては、各施設の整備方針や整備手順などの詳細設計の取り組みを進めている。また、周辺対策については、雨水施設整備に係る詳細設計に着手するとともに、引き続き川北地区の幹線水路の延伸整備を予定するなど、

社会資本整備を推進している。

杉本 用地交渉の進捗状況は。

まちづくり推進課長 6月より本格的な協議、交渉に入っており、現在、合意形成に向けて鋭意努力をしている。

金長まつり 継続に向けた取り組みは

杉本 市民が楽しみにしている金長まつりである。グラウンド整備に伴い、来年度以降の開催が懸念されている。市が主催ではないが、まつりの継続に向け、市としても



取り組んでいただきたいと考えている。

産業振興課長 今後、祭りを主催する春のまつり金長まつり運営委員会等と情報共有を行っていく。



金長神社

広域ごみ処理施設事業推進には行政・議会・市民の合意形成を

大互クラブ 高木 幸次 議員

答 隣接地を中心に住民説明会を開催予定である

高木 6月定例会議において議決された、徳島市との間における事務委託協議の概要は。

市民生活課長 委託事務の範囲として、一般廃棄物を広域処理するための施設整備・施設管理に関する事務や、本市から施設に搬入された一般廃棄物の中間処理に係る事務などを規定している。また、徳島市と本市の予算・

決算に係る事務処理執行等が主な内容となっている。

高木 建設候補地は本市の水源地に近く、環境への影響を心配する市民の

声もある。候補地を再考すべきでは。

市民生活課長 新施設については大気・水質・排水面も含め、安全・安心な施設として整備する方針が示されており、本市としても必要に応じて、要望も行う。

高木 何か問題が起こったとき、市長は責任をとれるのか。再考すべきではないか。

市長 白紙撤回の考えはない。また、責任を取るのが私の責務と感じている。

高木 農業用水に影響はないのか。

高木 農業用水に影響はないのか。



産業建設部長 徳島市からは新施設においては、排水を流さないという見解が出されている点からも、農業用水への影響はないと考えている。

高木 水道水への影響はないのか。

統括監 本市の水道水は深さ30メートルの深井戸から地下水を取水しており、また、計画される広域ごみ処理施設は、地下水に影響を与えることがないような環境対策を講じた施設開発が行われると聞いている。水道部としても、水質検査計画に基づき、常時、法定の検

市営グラウンドの 管理体制は

杉本 市営グラウンドの管理体制は。

まちづくり推進課長 関係各課と連携しながら維持管理を行っている。また、市民団体とボランティアの協力も頂き、国

土交通省が示す指針に基づき適正な管理に努めている。

広域ごみ処理施設 整備の地域説明会 の状況は

杉本 ミリカホールでの説明会以降の地域説明会は進んでいるか。

市民生活課長

徳島市が本年度を目的に策定する施設整備基本計画案の概要など、具体的な説明や報告ができる時期がきたら、最有力候補地の本市隣接地を中心に住民説明会の実施を予定している。

査や取水する地下水の水質管理を適切に行い、安心、安全な送水に努めている。

高木 広域ごみ処理施設の事業推進にあたり、行政・議会・市民による合意形成を優先すべきではないか。

市民環境部長 事業推進に当たっては、住民の理

解や協力を得て進めていくことが、住民自治、議会制民主主義の本旨であるという認識である。今後、開催予定の住民説明会においても、市民の方々の事業推進へのご理解、合意形成に努めてまいりたい。



田浦堰

小・中学校へのエアコン 設置計画は

日本共産党 片田 真弓 議員

答 中学校は平成30年度に導入

片田 小・中学校のエアコン設置について、今後整備計画はあるのか。

教育政策課長 小松島中学校は、普通教室の設備を平成30年度導入に向けて設計協議を行っている。小学校は施設の老朽化や小学校再編などの状

況により検討していく。

片田 災害時に避難所となる学校のトイレの洋式化や、障がい者用トイレへの改修工事の予定は。

教育政策課長 順次、洋式化への整備を進めていく。障がい者用トイレの設置はスペースも要する



ため、今後、計画的に進めていく。

片田 就学援助の入学準備金の入学前渡しはできないのか。

学校課長 入学前の支給となると、前々年度の所得で認可することになる。支給時期は検討する。

防災行政無線 設置後の検証は

片田 防災行政無線の設置後の検証や、聞き取り調査の実施は。

危機管理課長 聞き取り

にくい箇所について、その都度職員が、地域で聞き取り調査を行っている。また、Jアラートの情報伝達訓練時でも、音声確認調査を行い、聞こえているとの報告である。音声の内容が聞き取れない場合は、35局の4000番に内容確認の電話案内を設置している。

ごみ処理施設 広域化による ごみの受け入れは

片田 国がごみ処理事業を広域化する計画案を出し、広域化すると一般ごみも産業廃棄物も一緒に処理するようになる。循環型社会形成推進交付金を受け取る予定である

が、この交付金は、6年前の東北大地震の瓦れきや、将来原発事故などで大量に瓦れきが発生する



防災行政無線

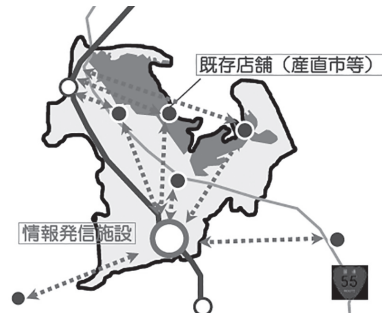
ことを考え、市町村を代行して国が処理できるようにしたものである。広域ごみ処理施設の大型焼却炉が完成すると、これらの震災瓦れきの受け入れが可能となる。徳島県は放射能物質を含む瓦れきの受け入れは難しいとしており、事業主体の徳島市も、放射性廃棄物を受け入れないとしている

が、本市の考えは。**市長** 本市も同様である。

小松島南部地域の振興策は

新生クラブ 出口 憲二郎 議員

答 立江櫛渚地区への
インターチェンジ設置に
より活性化を図る



出口 前原地区で建設が進んでいるインターチェンジと中心市街地、さらには、立江櫛渚地区のインターチェンジと連携した施策が必要と考えるがその見解は。

まちづくり推進課長 中心市街地の活性化の促進とあわせ、重要拠点へとつながる道路ネットワークの形成についても、高速道路により社会情勢の変化等に応じて、交通の円滑化や地域の連帯強化活性化が図られるよう、取り組んでいく。

市立図書館の図書 の充実を

出口 市立図書館の図書購入費が他市に比べて非常に低い現状をどう考えているのか。

教育長 図書購入費については、公共施設としての図書館のあり方を踏

まえて、次年度の対応を考えていきたい。

市長 今後の予算編成の中で増額を検討していきたい。

広域ごみ処理施設 の汚水処理の取り 扱いは

出口 徳島市市民環境部環境施設整備室の見解では、勝浦川への排水はせず、焼却炉内で排ガスの冷却に利用することだが、事実なのか。

市民生活課長 そのとおりとの認識を持つている。

出口 たとえば、各市町の議会議長、所管委員会

通学にランドセル機能を兼ね 備えたリュックサックの採用を

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 各学校へ周知する



吉見 教科書やノートが型くずれしないリュックサックがある。ランドセルは高額で保護者にとっても負担が大きく、買えない家庭の児童に対するいじめが起る可能性がある。軽くて低価格で、遠足等にも使えるリュックサックを採用しては。

市にあるが居住実態のない方の投票はどうなるのか。

選挙管理委員会事務局長 学生などで生活の本拠が小松島市内に無く、県外の大学に通っている事などを理由に、不在者投票を行いたいという場合には最高裁判例に基づき投票出来ない。

図書館新駐車場の賃 貸料見直しは

吉見 市立図書館新駐車場の賃貸料と計算方法は。

生涯学習課長 小松島市行政財産使用料条例に基づき、年間貸付金額を算



貸し出しされている新駐車場

吉見 1台に換算すると月1000円弱、民間の賃貸料は5000円が多く、民間の賃貸料と比較して安い。条例等の見直しを検討しては。

出。平成29年度は10ヶ月で約12万円。

議会広報研修会に参加



7月27日(木)、議会広報委員会ではアットビジネスセンター池袋駅前別館において開催された「議員・職員のための議会広報セミナー in 東京」に参加した。

午前の部では、「目に見えて進む広報改革」をテーマに議会広報の現状と課題、住民参加による広報や、先進地の事例について学んだ。

また、午後の部では、「もっと読まれる広報紙へ」をテーマに広報紙の企画やデザイン、写真の撮り方などを学ぶとともに、本市議会だよりについてのアドバイスを受けた。

他自治体の先進的な事例を参考に、QRコードの活用などによる、議会だよりからホームページへの誘導など、今後の課題も見えてきたところである。

議会広報委員会として、今後も親しまれる議会だよりを目指して取り組みを進めていきたい。

前号(114号)クイズの答え

江田潜水橋



(前号の問題)

市内にある唯一の潜水橋です。一般的になんと呼ばれているでしょうか。「〇〇潜水橋」〇〇に入る地名2文字をお答え下さい。

クイズの感想やコメント

(114号応募より)

通学かばんの取り組みは良いと思います。

ランドセルは高価だし、汚れたりした時も買いかえる時の負担が少ないと思います。

(60代・女性)

小松島市議会だより、いつも楽しみに拝見させて頂いております。今後もよろしく願いいたします。

(50代・女性)

★クイズへのご応募、コメントお待ちしております。

★前号の応募総数 28通

の委員長が定期的に会合を持って、この広域ごみ処理施設の検討協議をする場を設けることはできないのか。

市長 事業主体は徳島市であるため、徳島市の考えを踏まえて検討していく。

住宅新築資金等貸付事業の債権消滅時効は法律上あるのか

出口 6月議会本会議、同委員会において、所管する人権推進課の答弁では、この問題については民法上、規定がないこと

から、時効は適用されないとの答弁があったが、これは事実か。

市民環境部長 税法上の取扱いと混同して民法上の消滅時効はないと答弁したが、間違いであった。その場で訂正ができなかったことを謝りたい。

生涯学習課長 条例の改定等は考えていない。債権回収の順序は

吉見 差し押さえなどにより回収できる債権は何かあるのか。

吉見 納付がない場合、20日以内に督促状を送付して10日を経過した日までに完納しない場合は財産を差し押さえなければならぬと地方税法にあるが規定どおりしている

の。税法課長 規定はあるが、出来る限り自主的に納付して頂きたいと考えている。督促状以外に催告書、差し押さえ予告通知書を送付、分割納付等の納付相談等に来て頂けるよう努力している。

議員の賛否表（平成29年9月定例会議）

議案15件・委提第1号・議提第3号は、全会一致で可決、陳情第2号は不採択。

| | | | |
|------|--|-------|--------------------------------|
| 第71号 | 平成28年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について | 第80号 | 平成29年度小松島市一般会計補正予算（第2号） |
| 第72号 | 平成28年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 第81号 | 平成29年度小松島市水道事業会計補正予算（第1号） |
| 第73号 | 平成28年度小松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | 第82号 | 訴えの提起について |
| 第74号 | 平成28年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 第83号 | 調停案の受諾について |
| 第75号 | 平成28年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 第84号 | 人権擁護委員の推薦について |
| 第76号 | 平成28年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 第85号 | 人権擁護委員の推薦について |
| 第77号 | 平成28年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 委提第1号 | 議会評価意見書の提出について |
| 第78号 | 平成28年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 議提第3号 | 小松島市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について |
| 第79号 | 平成28年度小松島市水道事業会計決算の認定について | 陳情第2号 | 全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情について |

長期欠席議員の報酬減額に関する「議員報酬等特例条例」制定

「小松島市議会議員報酬等の特例に関する条例」を議員提出議案として上程し、9月定例会議散会日において全会一致で可決されました。

【条例制定の背景】

現在、本市議会では、病気などの理由で本会議等を長期欠席した場合や、刑事事件で逮捕・勾留された場合でも、議員報酬は全額支払われる。また、受け取った報酬を議員が市へ自ら返納することは、公職選挙法が禁止する寄付行為とされている。

全国的にも、長期欠席しながら報酬を受け取っていた議員がいることが報道されるなど、議員報酬のあり方が問題視されている。このようなことから、議員報酬について定めた規定が必要と考え、条例制定に至った。

【条例の内容】

病気などの理由で定例会議や委員会等を長期欠席した場合、その期間に応じて議員報酬を減額する。また、刑事事件で逮捕・勾留された場合は、身体拘束を受けた期間の報酬を支給停止し、のちに有罪となれば不支給とする。

| 長期欠席期間 | 減額率 |
|---------------|-----|
| 90日を超え180日以下 | 2割 |
| 180日を超え365日以下 | 4割 |
| 365日を超えるとき | 5割 |

※長期欠席期間とは欠席の始期からの連続期間です。

市議会タウンミーティングを開催しました

日時 平成 29 年 8 月 19 日 (土) 13:15 ~ 16:00

会場 小松島市総合福祉センター 2 階会議室

テーマ これからの議会の議員定数・議員報酬のあり方について

目的 テーマに関する多様な視点・見方を掘り起こし、
これからの議会の議員定数・議員報酬のあり方に向けての多様な意見を得る

参加者 16 名 (各種団体及び公募より) 及び議員 17 名

ファシリテーターグループ 澤田俊明 (徳島大学地域創生センター客員教授)、他 3 名



冒頭で定数・報酬の現状と課題を参加者と情報共有



グループに分かれての意見抽出を行う



参加者間で意見交換を行う

タウンミーティングでの参加者の意見

| その他の意見 | 議員報酬についての意見 | | | 議員定数についての意見 | | |
|--------------------------------|----------------------------------|-------------|-----------------------|--------------|-----------------------------------|-------------------|
| | 減 | 現状維持 | 増 | 減 | 現状維持 | 増 |
| ・ 人数を減、報酬を増 魅力ややりがいにつながるように | ・ 市民の生活費が減っていることに合わせて、報酬を減らすべきでは | ・ 全国平均並みである | ・ 若者が立候補しやすいように報酬を増やす | ・ 人口が減っているため | ・ 意見の多様性を考えて、少数になりすぎないようにバランスを考えて | ・ 市民のたくさんの意見反映のため |

市民の皆さまより伺った貴重なご意見をもとに、議員一人ひとりが考え、そして今後、議会で協議してまいります。

ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



散会后、北野議長(右)から濱田市長(左)へ意見書を提出

議会評価意見書を市長に提出

平成 28 年度に実施された 356 事業のうち、議会が重要と判断した 18 事業を、予算決算常任委員会の委員会提出議案として散会日に議会評価意見書を上程し、本会議において全会一致で可決されました。

平成29年12月定例会議日程

◎開議時刻はすべて午前10時です。
全ての会議、委員会で傍聴できます。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|-----------------|-------------|---------------|---------------------|----|
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | 開会 | | | 質疑・一般質問 市議会コンサート | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 質疑・一般質問 | 質疑・一般質問 ※予備日 | 総務 常任委員会 | 文教厚生 常任委員会 | 産業建設 常任委員会 | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 予算決算 常任委員会 | | 議決・散会 | | | |

発行／小松島市議会 議長 北野恒男

ふれあい市議会コンサート

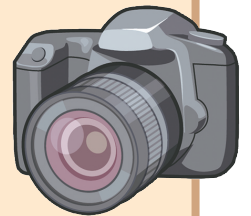
9月7日、定例会議の一般質問初日のお昼休みに、本会議場においてふれあい市議会コンサートが開催され、「はなグラス」さんにご出演いただきました。オカリナをメインに、ウッドブロックなどを使って、誰もが楽しめるようなポップーソングを演奏していただきました。

市議会では、3月・6月・9月・12月の各定例会議における出演者を募集しています。出演のお問い合わせは、小松島市議会事務局 Tel 32-1359 まで



大募集!!

「議会だより」表紙写真



1. テーマ 議会だより表紙にふさわしい、とっておきの一コマ
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学の方
3. 応募方法 応募用紙に必要事項をご記入の上、写真（A4サイズ）を添え、市役所2階、議会事務局までご提出ください。
4. 応募規定 応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
5. 応募締切 1月10日 必着（2月5日発行号）
6. 応募先 〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
7. 問合せ先 小松島市議会事務局 Tel 32-1359

編集／議会広報特別委員会 委員長 吉見勝之

委員 松大 四宮祐司 廣田和司 片田真弓 杉本勝 安平剛之 副委員長 米崎賢治 委員長 吉見勝之

広報委員

広報委員長 吉見勝之

11月に入り、朝夕、寒くなってきました。さて、平成24年度に策定された小学校再編計画は想定を上回る速さで児童数が減少するなど、大きく状況の変化があったため、計画を見直すことになりました。

夕暮れや
ひざをいだけば
又一葉
(一茶)

編集後記